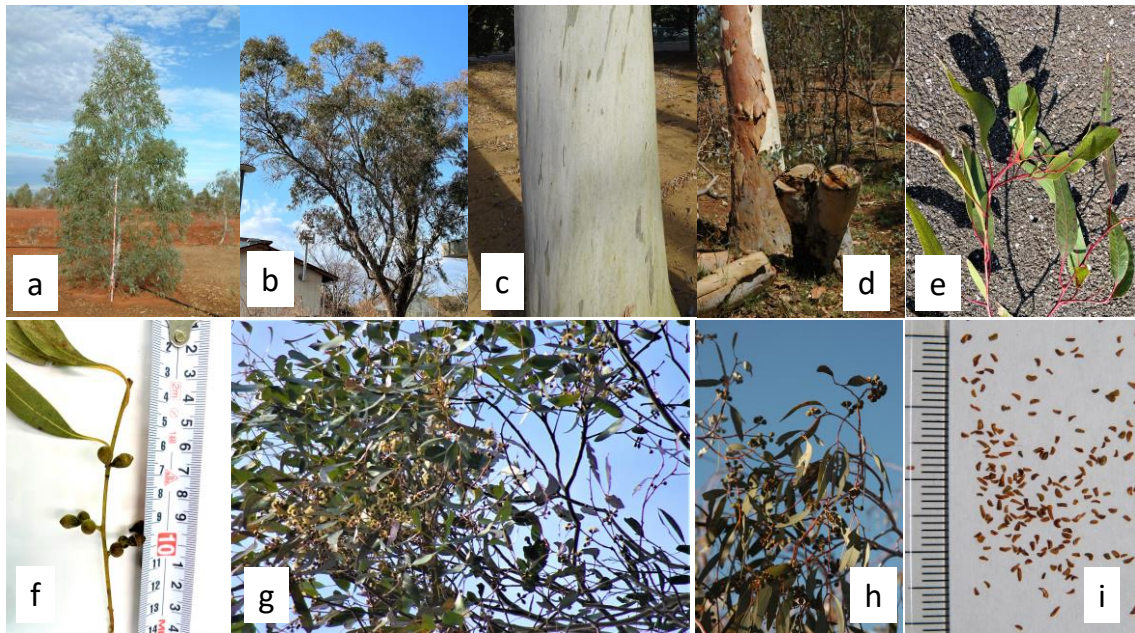


ユーカリ・カマルドレンシス（フトモモ科）

Eucalyptus camaldulensis Dehnh.

英語：River red gum

天然分布（国単位）



【概要】 オーストラリアで最も分布範囲が広いユーカリである。河川沿いや氾濫原などに天然分布し、広い樹冠を形成する（写真 a, b）。アルカリや酸性土壌への耐性があり、塩類集積地や貧栄養土壌にも植栽できる。乾燥耐性も高いが、数カ月の滞水にも耐える。また高温や霜にも耐性がある。温帯から熱帯、半乾燥地域までの幅広い気候で成長し、粘土質やシルト質土壌で高い成長量を示す。繁殖が容易で成長速度も速いため、19 世紀から造林樹種として注目され植栽されてきた。現在では世界中に植栽され、植栽国は日本を含む 100 ヶ国以上とされる。

【形態】 通常は樹高 20m 程度であるが、生育適地では樹高 50m、胸高直径 2m に達する場合もある。変種や成長段階により葉の形状は様々であるが、単葉で披針形から狭披針形で互生する（写真 e）。両面無毛に近く、葉柄は 12–15 mm である。樹皮は白色や灰色からやや赤みがかかった色を呈し、大きく剥離する（写真 c, d）。蕾は花弁と萼片が合着して先が尖がった帽子状になる（写真 f）。花は白色からやや黄色がかかった乳白色で両性花である（写真 g）。種子は粉状で非常に小さく、1 kg あたり 30 万から 80 万粒ある（写真 i）。

【生態】 標高 600m 以下の川沿いや氾濫原によくみられ、一部では純林を形成する。丘陵地の傾斜面に出現することもある。変種の *ver. obtusa* はオーストラリア大陸の川沿いに広く分布し、北部の熱帯地域にまで広がっている。*E. tereticornis* など近縁種との

森林再生テクニカルノート：荒廃地修復のための主な植栽樹種

自然交雑も見られるが、人工交配による雑種も作出されている。

【繁殖・育苗】発芽率は比較的高く 40～90%である。コンテナ苗として育苗され植栽される。伐採後容易に萌芽し、燃料やパルプ材として 6～10 年サイクルで収穫し萌芽更新させることが多い。挿し木増殖も可能で、インドール-3-酪酸（IBA）やナフタレン酢酸（NAA）で発根が促進される。

【成長・その他】適地での成長が非常に早く、ヘクタール当たりの年材積成長量は、タイで 25 m³、アルゼンチンやトルコで 20～30 m³、ブラジルでは 45～60 m³に達する。しかし、タイやインドの半乾燥地や貧栄養土壌では 2～11 m³程度という報告がある。材質は強度が高く耐久性に優れ、枕木、柱、床材、船舶用材木、建材などに利用されてきた。また、パーティクルボード原料にもなる。タイなどでは木炭原料としても植栽され日本に輸出されている。木材の繊維が長くて丈夫なため、パルプ原料に適している。ユーカリオイル原料としても重要で、さわやかな香りと殺菌効果がある。花の蜜は黄金色で味や香りがよい。

【主な参考文献】Bachelard E.P., & Stowe B.B. (1963) Rooting of cuttings of *Acer Rubrum* L. and *Eucalyptus camaldulensis* Dehn. *Australian Journal of Biological Sciences* 16:751-767. Flores T.B., Alvares C.A., Souza V.C., Stape J.L. (2018) *Eucalyptus* in Brazil. 石塚和裕 (1996.カマルドゥレンシスユーカリ) 熱帯樹種の造林特性第 1 巻 250-208. Meddings R.A., McComb J.A., Calver M.C., Thomas S.R., & Mazanec R.A. (2003) *Eucalyptus camaldulensis* × *globulus* hybrids. *Australian Journal of Botany* 51: 319-331.

(国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 田中憲蔵)

写真 a 樹形 (植栽) 撮影地：西オーストラリア、撮影年月：2005 年 3 月、撮影者：斉藤昌宏

写真 b 樹形 (植栽) 撮影地：高知県、撮影年月：2022 年 1 月、撮影者：田中憲蔵

写真 c 樹皮 (若い樹幹) 高知県撮影地：高知県。撮影年月：2022 年 1 月、撮影者：田中憲蔵

写真 d 樹皮 (成熟した樹幹) 撮影地：オーストラリア、撮影年月：2005 年 3 月、撮影者：斉藤昌宏

写真 e 葉 撮影地：高知県、撮影年月：2022 年 1 月、撮影者：田中憲蔵

写真 f 花の蕾 撮影地：茨城県、撮影年月：2022 年 2 月、撮影者：田中憲蔵

写真 g 花 撮影地：茨城県、撮影年月：2022 年 2 月、撮影者：田中憲蔵

写真 h 果実 撮影地：西オーストラリア、撮影年月：2005 年 3 月、撮影者：斉藤昌宏

写真 i 種子 採集地：ミャンマー、撮影者：JIFPRO